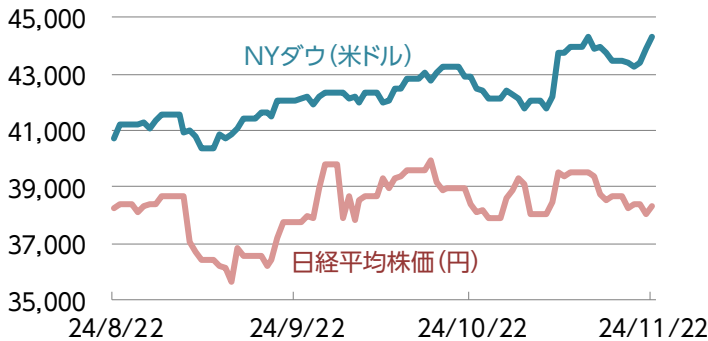


■先週の市場の動き

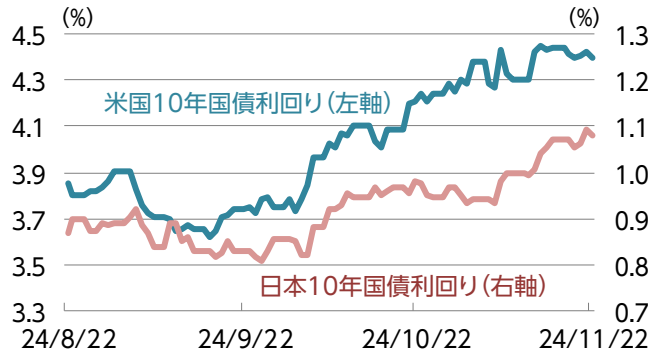
米国株式が反発。NYダウは週末に過去最高値を更新。ウクライナの長距離ミサイル攻撃やロシアの対抗措置など戦闘激化が重荷となった。一方、週央以降は経済指標が米国景気の底堅さを示す中、景気敏感株や出遅れ銘柄を中心に上昇。アルファベットが下落。米司法省が裁判所にグーグルの「クローム」事業の売却を含む是正案を提出したことを警戒。エヌビディア決算は市場予想を上回ったが、株価は横ばい圏にとどまった。

■株式市場



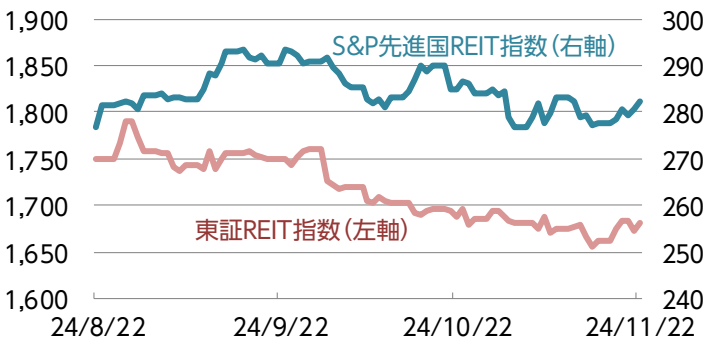
国内株式は続落。ロシア・ウクライナの戦闘激化への懸念や米国のハイテク株や半導体株が下落した流れで、半導体関連株を中心に下落。日銀の追加利上げ観測も根強く、売りが優勢。

■債券市場



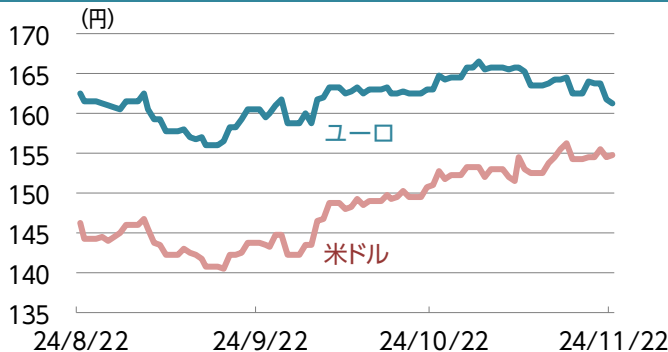
米10年国債利回りは低下。10月以降、利回り上昇が続いていたことから、持ち高調整の買いが入った。地政学リスクの高まりも債券買いを促した。日本の10年国債利回りは一時4カ月ぶり水準まで上昇。

■REIT市場



国内は8週ぶりの上昇。国内株が上昇した場面でリスク資産であるREITも買われた。米長期金利が低下したことも押し上げ要因。海外は反発。

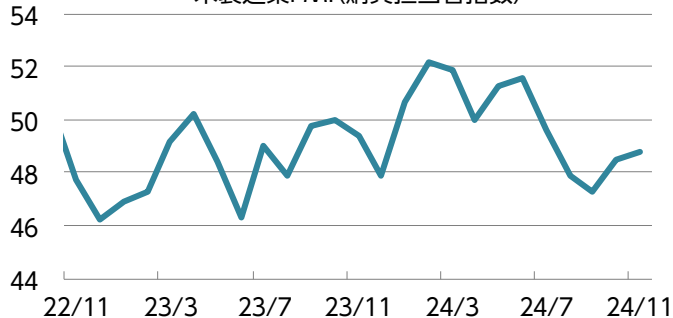
■為替市場(米ドル/円、ユーロ/円)



米ドル/円は上昇。米国景気の底堅さが意識されたことに加え、ロシア・ウクライナ紛争の地政学的な懸念からユーロが対米ドルで下落した流れが波及。ユーロ/円は下落。

■経済指標グラフ

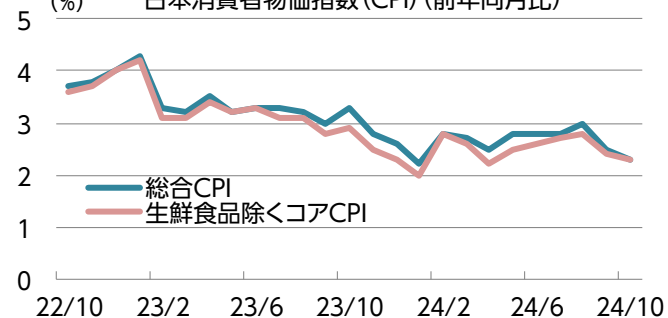
米製造業PMI(購買担当者指数)



前月から+0.3ポイントの48.8。4カ月ぶりの高水準も、50割れが継続。

■経済指標グラフ

日本消費者物価指数(CPI)(前年同月比)



生鮮食品除くコア指数は前年同月比+2.3%。2カ月連続で伸びは縮小(前月は+2.4%)。政府の電気・ガス代の支援策再開でエネルギーの上昇が鈍化。

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

## ■主要指数の動き

	先週末	騰落率		
		11/22	1週間	1か月
日経平均株価	38,283.85	▲0.93%	▲0.33%	0.19%
TOPIX	2,696.53	▲0.56%	1.70%	0.94%
JPX日経インデックス400	24,542.90	▲0.61%	1.31%	0.10%
米国 NYダウ	44,296.51	1.96%	3.20%	8.80%
米国 S&P500指数(米ドルベース)	5,969.34	1.68%	2.02%	7.16%
フィラデルフィア半導体株指数	4,955.80	2.53%	▲4.53%	▲2.58%
米国 ナスダック総合指数	19,003.65	1.73%	2.32%	7.86%
英国 FTSE100	8,262.08	2.46%	▲0.54%	▲0.31%
ドイツ DAX	19,322.59	0.58%	▲0.51%	4.48%
欧州 STOXX600	508.47	1.06%	▲2.29%	▲1.41%
香港 ハンセン指数	19,229.97	▲1.01%	▲6.19%	9.01%
中国 上海総合	3,267.19	▲1.91%	▲0.57%	14.69%
インド S&P BSEセンセックス指数	79,117.11	1.98%	▲1.38%	▲2.39%
ブラジル ボベスパ	129,125.51	1.04%	▲0.64%	▲4.47%
日本10年国債利回り	1.080%	0.010	0.100	0.210
米国10年国債利回り	4.400%	▲0.039	0.193	0.548
ドイツ10年国債利回り	2.242%	▲0.114	▲0.076	▲0.002
東証REIT指数(配当なし)	1,681.68	1.14%	▲0.30%	▲3.83%
S&P先進国REIT指数	282.23	1.68%	▲0.88%	1.91%
NY金先物	2,712.20	5.53%	▲1.17%	9.41%
原油先物	71.24	6.30%	▲1.18%	▲2.42%

	先週末	変化率		
		11/22	1週間	1か月
米ドル	154.78	0.31%	2.45%	5.80%
ユーロ	161.24	▲0.87%	▲1.18%	▲0.81%
英ポンド	193.94	▲0.42%	▲1.14%	1.29%
豪ドル	100.61	0.87%	▲0.35%	2.57%
カナダ・ドル	110.71	1.09%	1.25%	3.03%
ノルウェー・クローネ	13.98	0.40%	1.03%	1.28%
ブラジル・リアル	26.68	0.14%	0.41%	1.62%
香港ドル	19.88	0.27%	2.27%	5.96%
シンガポール・ドル	114.91	▲0.08%	0.11%	2.97%
中国・人民元	21.36	0.32%	0.74%	4.40%
インド・ルピー	1.83	▲1.04%	1.96%	5.18%
インドネシア・ルピア	0.97	0.27%	0.44%	3.96%
トルコ・リラ	4.47	▲0.10%	1.51%	4.07%
南アフリカ・ランド	8.54	0.63%	▲0.91%	5.11%
メキシコ・ペソ	7.57	▲0.18%	▲0.01%	1.00%

※先週末休場の市場は直近値  
 ※国債の騰落率は利回りの変化幅  
 ※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし  
 ※NY金先物は1トロイオンス当たりの米ドル建価格  
 ※原油先物は1バレル当たりの米ドル建価格(WTI先物価格)  
 ※インドネシア・ルピアは100通貨単位での表示

## ■主要経済指標

### <国内>

コア機械受注(船舶・電力を除く民需)(9月)	船舶・電力を除く民需は前月比▲0.7%、3カ月連続で減少。製造業が4カ月連続の減少
貿易統計(10月)	貿易収支は▲4,612億円、4カ月連続の赤字。輸出は前年同月比+3.1%、輸入は同+0.4%
訪日外客数(10月)	331万2,000人、前年同月比+31.6%と月次ベースの過去最高を更新
全国消費者物価指数(10月)	生鮮食品除くコア指数は前年同月比+2.3%。2カ月連続で伸びは縮小

### <米国>

住宅着工件数(10月)	前月比▲3.1%の年率換算131.1万戸、3カ月ぶりの低水準。大型ハリケーンの影響
中古住宅販売件数(10月)	前年同月比+2.9%の年率換算396万戸。2021年7月以来のプラスの伸びに転換
製造業PMI(購買担当者指数)(11月)	前月から+0.3ポイントの48.8。4カ月ぶりの高水準も、50割れが継続

### <欧州>

英国消費者物価指数(10月)	前年同月比+2.3%。9月(+1.7%)から市場予想以上の伸び。コア指数は+3.3%に加速
ユーロ圏総合PMI(11月)	前月から▲1.9ポイントの48.1。2カ月ぶりの50割れ。サービス業が失速気味

## ■今後の焦点

日付	イベント
11/26	米国 新築住宅販売件数(10月)
11/26	米国 消費者信頼感指数(11月、コンファレンスボード調べ)
11/27	米国 FOMC議事要旨(11月6-7日分)
11/27	米国 耐久財受注額(10月)
11/27	米国 GDP(国内総生産)成長率(7-9月期、改定値)
11/27	米国 個人消費支出デフレーター(10月)
11/29	日本 東京都都区部消費者物価指数(11月)
11/29	日本 失業率(10月)
11/29	日本 鉱工業生産指数(10月)
11/29	欧州 ユーロ圏消費者物価指数(11月)
11/30	中国 製造業PMI(11月、政府発表分)

日付	イベント
12/2	日本 法人企業統計(7-9月期)
12/2	中国 製造業PMI(11月、民間発表分)
12/2	米国 ISM(米供給管理協会)製造業景況指数(11月)
12/3	米国 雇用動態調査(JOLTS)(10月)
12/4	米国 ISM非製造業景況指数(11月)
12/6	日本 家計調査(10月)
12/6	日本 毎月勤労統計調査(10月)
12/6	米国 米雇用統計(11月)
12/6	米国 消費者信頼感指数(12月、ミシガン大調べ)

FOMC: 米連邦公開市場委員会  
 (信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

## 【投資に関する留意事項】

### ◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債など値動きのある有価証券等を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

### ◎投資信託に係る費用について

投資信託にご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

1. 購入時に直接ご負担いただく費用 (1) 購入時手数料 上限 3.85%(税込) (2) 信託財産留保額 上限 0.1%
2. 換金時に直接ご負担いただく費用 (1) 信託財産留保額 上限 0.5%
3. 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 (1) 信託報酬 上限年率 2.09%(税込、概算)

※ファンド・オブ・ファンズ形式の場合は、一部を除き、投資信託が投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。

※一部の投資信託および投資信託証券には運用実績等に基づき計算される成功報酬額が別途かかる場合があります。この場合、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合がありますが、成功報酬額は運用実績等により変動するため、上限額等を事前に表示することができません。

4. その他費用 (1) 上記以外に投資信託の保有期間等に応じてご負担いただく費用(\*)があります。これらの費用は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等を事前に表示することができません。

(\*) 監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資信託証券の解約に伴う信託財産留保額、および投資信託が実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等

上記の費用の合計額については、お客様が投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に表示することができません。

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友トラスト・アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率(作成日現在)を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

### ◆設定・運用は



商 号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

### 【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。